



NPO法人 Dragons Baseball Academy

ドラゴンズベースボールアカデミー

2016 活動報告書



ごあいさつ

理事長挨拶

米国からベースボールが輸入されたのが明治5年、この球技に“野球”という名称が付けられたのが明治27年と言われています。明治期、文明開化の波に乗って、多くの球技がこの国に入ってきました。1人、1人対1人から集団まで、今や100種以上の球技が活況を呈しています。ところが面白いことに、種目が日本語に訳されて定着したものが3種目しかありません。卓球、水球そして野球です。数ある球技の中で、野球こそは日本のスポーツ文化を代表する球技として広く認知されています。国技と言っているかもしれません。

しかしながら、さる玩具メーカーが平成27年秋に実施した調査では、小中学生が授業以外に行っているスポーツは、水泳、サッカー、テニスの順で、野球はこれらの後塵を拝しています。この調査結果を待つまでもなく、近年プロ野球界では、少年の野球離れに危機感を持ち、野球文化を盛り返す活動が広がってきています。中日ドラゴンズが名古屋に誕生したのが昭和11年で

す。巨人、阪神に次ぐ球団の設立でした。ゆえに、平成28年に球団は傘寿のおめでたを迎えます。これ一重に、ファンの皆様や地域社会のご支援のたまものです。ひたすら感謝あるのみです。そこで球団は、80周年記念事業の一環として、野球振興事業を興すことにしました。NPO法人、ドラゴンズベースボールアカデミー(DBA)の立ち上げです。小中学生を対象に、野球を楽しむために、野球の高い技能を身につけるために、中日ドラゴンズOBを講師に迎えて、週1回個人指導を受けてもらう取り組みです。野球をこよなく愛する小中学生の人的成長をサポートしていきたいと思ひます。

中日ドラゴンズ代表取締役社長
ドラゴンズベースボールアカデミー理事長
佐々木 崇夫



校長挨拶

ドラゴンズベースボールアカデミー校長の鈴木孝政です。スクールの運営に関しては、不安もありますが、自分の持ち味、できることを最後まで全うしようという決意でいっぱいです。私が今思っている内容、目的については、ただ野球を上手にするというだけではなく、以下の2つのポイントが大切であると考えています。野球を通じて規律正しい子どもにする。体を強く鍛えてもらう。勉強も大事ですが最近の報道によると、全国の体力測定で小学生の男子、愛知県が最下位だったことにショックを受けました。小学校5年生の遠投、ソフトボール投げが平均22メートルと書いてありました。私が小学5年生の時、ソフトボールを68メートル投げました。これはちょっと異常なのですが…1/3しか投げられないのか、というのが記事を読んだ最初の感想です。投げるのが人生においてどれだけ重要かと言いますと、たいして重要ではないのですけれど、これだけ体力的に落ちているのだなと、しかも環境的に恵まれている愛知県が日本で最下位だったことに衝撃を受けました。野球を通じて、規律正しいのはもちろん、体が勝負で

す。その体を子どものうちに少しでも動いて、鍛えて、見て、考えて、生きていく力をつけてあげたい。また、他人との比較ではなく出来なかったことにチャレンジし立ち向かい、克服することで精神的な強度をあげて欲しい。これを私の大きな目標に掲げています。全部できるかどうかわかりませんが、多少なりともそういう方向で力になりたい、そしていいアカデミーにしていきたいと思ひます。

中日ドラゴンズ OB 会長
鈴木 孝政



事務局長挨拶

アカデミーの基本的指針は「外遊びをしない子ども達のために」です。昨今の子どもを取り巻く環境について考えますと、「遊ぶ時間がない」「遊ぶ場所がない」「遊ぶ仲間がない」の3無の問題を抱えています。この問題は、トップアスリートは伸びていくが、競技の底辺を成すジュニアの運動能力の格差を生むと言う結果を導きます。活発に動き回る子どもは、幼少期にしっかりと色々な運動刺激が入ることで発達します。反対に活発でない子は、未発達であるとなります。5才から8才頃の子どもがまず最初に発達するのは神経系です。ゴールデンエイジと言われるジュニア期は脳を始め色々な神経が発達する時期です。その後に骨が完成し、筋が発達して体ができていきます。昔遊びの中には、子どもの神経系の発達に役立つ要素が沢山ありました。鬼ごっこや、かくれんぼ、木登りや、かけっこなどです。すばしっこく動き回り、軽い体重を活かして運動することが発達の基礎となるのです。しかし3無の問題が大きく立ちはだかっているのです。このことは野球を本格的にプレーしている子どもにも当てはまるのです。パワー

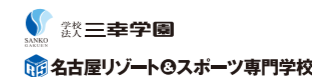
や技術は、この基礎の上に積み上げてあげる必要があるのです。それならば、スポーツの出番です。時間と場所と仲間をつくる場、思い切りスポーツができる環境を提供し、スポーツ競技者の底辺を成すべきジュニアの育成を図る。スポーツを通じて、協調性や課題克服力、忍耐力などを学び、人間力の土台を造ってもらう。そして野球の普及、振興を実現してスポーツの振興を目指したいと思ひます。

元中日ドラゴンズトレーニングコーチ
三木 安司



協賛一覧

協賛一覧



一般財団法人 石田退三記念財団

株式会社オーケイフーズ

東郷施設サービス株式会社

有限会社デシベル

株式会社明治

賛助会員(団体)

有限会社 塚本新聞店

佐藤あつくりクリニック

賛助会員(個人)

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 鈴木 保様 | 梅木 政宏様 | 岩瀬 達彦様 | 伊藤 錠一様 | 中島 健太様 |
| 新田 英貴様 | 伊藤 剛様 | 水越 聡様 | 伊藤 鎮様 | 近藤 浩晃様 |
| 樋口 義博様 | 伊藤美和子様 | 水野 厳根様 | 大島 朝昭様 | 二瓶 雄樹様 |
| 山田 博行様 | 山中 宏一様 | 岡本 大典様 | 横山 慎一様 | 鶴飼 昌治様 |
| 水越 樹彦様 | 井上 義隆様 | 廣田 和彦様 | 吉田 美幸様 | 佐藤 芳雄様 |
| 田中 正文様 | 若杉伸一郎様 | 村山 紗弓様 | 伊藤歌奈女様 | 磯村 勝則様 |
| 田中 珊瑚様 | 金刺 廣長様 | 杉山 英樹様 | 小野田 実様 | 大西 正一様 |
| 小山 歩様 | 石堂 典秀様 | 杉山 里美様 | 巢立 隆宏様 | 大西 好江様 |
| 鶏徳 尚志様 | 今井 千尋様 | 伊藤 鏡一様 | 野々山貴子様 | 鈴木 俊一様 |
| 平岡 聡様 | 山口 哲司様 | 伊藤鉄二男様 | 鈴木彩矢香様 | 加藤 佳洋様 |



中日キッズ野球教室

野球好きのちびっぴあつまれ!

主催

NPO法人ドラゴンズベースボールアカデミー
中日ドラゴンズ
中日新聞社

野球普及活動

「中日キッズ野球教室」

子どもたちが野球を始めるきっかけづくりを念頭に「中日キッズ野球教室」を開催しています。野球未経験の子どもたちを対象に野球普及を目的として実施されてきました。少子化や子どもたちの野球離れが進む昨今、学童野球チームでは団員が集まらず、やむなく消滅・合併に至ってしまうことは、もはや珍しいことではありません。この傾向は、日本の少年野球の縮小化、ひいては野球界全体の衰退にもつながりかねない大きな問題であり、こうした現状に不安を持つ学童野球チームの多くから、地元のプロ野球球団・中日ドラゴンズへの学童野球人口の増加に向けて、協力要請も日に日に増してきています。参加者の中にはボールを触ること自体が初めてという子どもも多く、「野球を教える」のではなく「野球で遊ぶ」という意識を芽生えてもらえるように実施しており、本教室に参加した子どもたちが「野球って楽しい」と言って、帰宅後に両親とキャッチボールをやるような雰囲気になれることが一番と考えております。そのうえで、ひとりでも多くの参加者が野球に興味を持ち、チームに入団して野球をやっていける形が出来れば本望です。我々、ドラゴンズベースボールアカデミー、中日ドラゴンズ、中日新聞社は子どもたちに野球の面白さに気づきかけ作りの場を提供することにより野球人口の底辺拡大、さらには参加者の中からプロ野球選手が誕生するきっかけとなるような野球教室を目指してまいります。

中日キッズ協賛



実施日	開催場所	所在地	参加人数
6月11日(土)	各務原市民球場	各務原市	103名
6月18日(土)	田辺グラウンド	名古屋市瑞穂区	71名
6月19日(日)	志段味スポーツランド	名古屋市守山区	104名
6月25日(土)	あま市美和グラウンド	あま市・大治町	143名
6月26日(日)	東浦町営グラウンド	東浦町	113名
7月 3日(日)	千代田橋小学校	名古屋市東区・千種区	105名
7月17日(日)	筑瀬中学校	名古屋市中区	145名
7月24日(日)	港北公園野球場	名古屋市港区	99名
9月11日(日)	大高緑地児童球場	名古屋市緑区	126名
9月17日(土)	半田市北部グラウンド	半田市	130名
10月 1日(土)	北区洗環緑地野球場	名古屋市北・西区	(中止)
10月 8日(土)	日進市総合運動公園野球場	日進市	(中止)
10月16日(日)	大府市立大府小学校	大府市	105名
11月 5日(土)	城山球場	尾張旭市	126名
11月 5日(土)	牧野ヶ池緑地自由広場	名古屋市天白区	108名
11月12日(土)	稲沢市民球場	稲沢市	73名
11月13日(日)	知多市緑広場	知多市	194名
11月20日(日)	春日井市民球場	春日井市	109名
11月27日(日)	豊田市 白浜公園野球場	豊田市	(中止)
参加者数			1854名



野球に関する情報発信

「講習会の開催」

1 食育に関する情報 協力：明治

アスリートを目指すジュニアの食事の摂取の仕方。バランスの取れた食事とは具体的に何をどのように食べればよいのか。5大栄養素に対する理解と食事の重要性に関する啓蒙活動をする。子どもの健全な発達に寄与する取り組みです。



2 目の大切さを知ってもらう活動 協力：キクチメガネ

最近の子どもたちは、目に負担をかける可能性のある生活が多々見られます。知らず知らずのうちに視力が低下しているケースも目立ちます。スポーツの活動には、基礎となる視力はもちろんのこと視覚機能が大切な役割を果たします。主な視覚機能には静止視力、動体視力、コントラスト感度、眼球運動、深視力、瞬間視、手と目の協調性などがあります。目でとらえた情報をいかにスポーツ動作に反映させるかが大切です。目を大切にもらうきっかけをつくる取り組みです。



3 野球に必要な能力について 協力：アシックス

野球の動きの基本となる、走る、投げる、打つ。3つの要素を数値的に分析し、走攻守への影響を評価します。フィードバックしながら指導を進める取り組みです。

- ①走る 単純スピードと走塁への影響
- ②投げる ボールスピードと遠投能力
- ③打つ スイングスピードと飛距離
- ④守る 反応時間と守備範囲



4 道具について

道具の整理整頓を習慣とし、物の大切さ、感謝を定着させる取り組みです。



5 動作解析 提携：BASEBALL ONE

正しい情報をインプットしフォームのチェックを行う。フォームのチェックをコーチと共に。データを生かして正しく導く取り組みです。



指導者の育成

インターンシップの受け入れ 提携：三幸学園

将来指導者を目指す学生のインターンを受け入れ、スクール運営に関わってもらうことで、社会体験を実現する。社会性の向上、人間形成に寄与する取り組みです。



ドラゴンズベースボールアカデミー

スクール事業



ドラゴンズベースボールアカデミーは3つのカテゴリーに別れており、初心者から経験者まで、個々の学年・レベルに応じて指導していきます。

低学年(1年生から3年生)

ティーボール

キッズコース

まずはボール遊びで仲間づくり!

キッズコースは、ティーボール(軟球よりも柔らかいゴム製ボール)を使用し、ボールに対する恐怖感を感じることなく、ベースボール型スポーツを体験できます。野球への導入を初歩レベルから指導し、基本的な動きを簡単に身につけることができますので、まずは、お友達と楽しくボール遊びができることが魅力です。



月曜日校	東郷町	火曜日校	名古屋市(瑞穂区)	水曜日校	岡崎市
木曜日校	刈谷市	金曜日校	岐阜市(巡回)		
時間	16:30~17:30		定員	各曜日・定員30名	

エンジョイコース

エンジョイベースボール!

エンジョイコースは、軟式ボールを使用し、野球を楽しくプレーすることがメインです。初心者から経験者までの各レベルに合ったカリキュラムを用意し、基礎を学びながらレベルアップを図ります。野球を通じて社会性を伸ばすことも目指します。



月曜日校	東郷町	火曜日校	名古屋市(瑞穂区)	水曜日校	岡崎市
木曜日校	刈谷市	金曜日校	岐阜市(巡回)		
時間	17:40~19:00		定員	各曜日・定員30名	

エキスパートコース

夢に近づく第一歩

エキスパートコース(小学生)は、投げる・打つ・走るの3要素に重点を置き個人技術を学ぶことで、チームを勝利させるプレーに結びつけることを目指します。より高いレベルの基本的動きを獲得することで、次のレベルアップにチャレンジした時に対応できることを目標とします。また野球を通じて社会性を伸ばすことも目指します。



水曜日	岡崎市	時間	19:10~20:30	定員	6名
水曜日	名古屋市(戸田)	時間	16:00~17:20	定員	15名

エキスパートコース

夢の実現に向けて!

エキスパートコース(中学生)は、プロの技術指導を学びながら、基礎と応用を身につけレベルアップを図ります。硬式球は、正しい基本技術と正しい動作を組み合わせる必要があります。体にも無理がない動きを獲得することが、必ず次のレベルアップに繋がります。また礼儀・感謝・マナーなどの社会性の向上も目指します。



水曜日	岡崎市	時間	19:10~20:30	定員	10名
水曜日	名古屋市(戸田)	時間	17:30~18:50	定員	15名

※記載されている時間は、2016年12月1日現在のものです。

ドラゴンズベースボールアカデミー 会場詳細

曜日	開催地名	会場	主催・共催・協力
月曜日校	東郷町校	愛知池運動公園野球場	主催:東郷町施設サービス(株)
火曜日校	名古屋市 瑞穂校	パロマ瑞穂スポーツパーク	共催:(公財)名古屋市教育スポーツ協会
水曜日校	岡崎市校	岡崎中央総合公園	協力:(一財)岡崎パブリックサービス
水曜日校	名古屋市 戸田校	リミックスベースボール室内練習場	協力:琴葉(株)
木曜日校	刈谷市校	刈谷球場	協力:刈谷市軟式野球連盟
金曜日校	岐阜市校	岐阜市民球場	
		ハッ草球場	
		もえぎの里 多目的体育館	

ドラゴンズベースボールアカデミー コーチ陣

校長 鈴木孝政

コーチ

木俣達彦(捕手)	長谷部裕(捕手)
片貝義明(捕手)	澤井道久(内野手)
藤波行雄(外野手)	野口茂樹(投手)
小川宗直(投手)	湊川誠隆(内野手)



小学生

高学年(4年生から6年生)

軟式

中学生

1年生から3年生

硬式



特定非営利活動法人 ドラゴンズベースボールアカデミー

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1番1号

TEL052-212-5433 受付日時 10:00~12:00
13:00~17:00(土日祝は休み)

<http://www.kidsdragons.net>

